

達成度：H31.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

生涯学習課の目標（平成30年度）自己評価書

生涯学習課長 鵜澤 勝己

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 生涯学習の推進（社会教育班）</p> <p>生涯学習を推進するため、生きがいを大切にする人生や仲間づくりを育むための自立的な自己教育と相互教育を基本にしたコミュニティ形成につながる地域の人材の育成を目的に家庭、学校、地域、各種団体、行政が連携した各種事業を実施します。</p> <p>①生涯学習推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育推進事業 家庭教育学級（直営事業、小中学校への設置） ・成人教育推進事業 実行委員会形式 成人式（20歳）、盛年式（60歳） 	4	<p>①生涯学習推進事業</p> <p>○家庭教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローズマリー学級・・・就学前児童の保護者対象（学級生21人）の学習会を11回開催しました。 ・各学校の家庭教育学級・・・各学校の学級生は、酒々井小18人、大室台小24人、酒々井中17人でした。学習会は各学校7回行いました。 <p>各学級とも学習内容に工夫が見られ、親の学びと交流を深めるとともに、家庭での話題の一環となり親子の絆もさらに深めることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育相談の対応・・・週2回（木・金）に対応しています。平成30年度の相談件数はありませんでしたが、家庭教育学級の学習会時に相談を受けることができました。 <p>○成人教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式・・・1月13日、プリミエール酒々井文化ホールにおいて行いました。（参加新成人141人）

<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進事業 (障害のある人、男女共同参画、同和問題等をテーマとした人権教育セミナーを年6回実施) ・社会教育関係団体育成事業 (婦人会、PTA等事業費助成) ・まちづくりフォーラム 住民協働課連携 	<p>新成人の実行委員による式典の進行、新成人のつどいを実施し、式典では厳粛な雰囲気の中、新成人となる決意を新たにし、新成人のつどいでは恩師や友人との旧交を暖めることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛年式・・・2月24日、中央公民館講堂において行いました(参加者118名)。人生の節目である60歳を祝うとともに、地域活動への契機の間とすることができました。 <p>○人権教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育セミナーの開催・・・平成30年度に6回開催しました。(参加人数延べ1,124人)あらゆる人権問題の解消を目指し、人権に対する理解を深め、人権意識の向上を図りました。 ・人権教育の啓発活動・・・各学校の人権教育教材として貸し出しを行いました。 <p>○社会教育関係団体育成事業</p> <p>町婦人会、町PTA連絡協議会等、各社会教育関係団体の育成を目的に補助金を交付しました。</p> <p>○まちづくりフォーラム</p> <p>町長部局(住民協働課)と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月11日に中央公民館を会場に実施しました。 「人生100年時代を生きる」をテーマとした基調鼎談、2つの分科会、各分科会の報告を実施しました。町内外あわせて約250名の参加がありました。
--	--

<p>②学校・地域・家庭連携事業</p> <p>1 学校教育支援促進事業 地域ボランティアによる小中学校教育支援</p> <p>2 土曜日の教育支援体制等構築事業 小学生補習（中央公民館と共同開催）</p> <p>3 地域未来塾の実施 中学生補習</p>	<p>4</p> <p>②学校・地域・家庭連携事業</p> <p>○学校教育支援促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3校それぞれ支援コーディネーターを中心に、地域住民や保護者の協力を得て、充実した活動を展開しました。児童・生徒にとってより良い学習環境を整えることができたとともに、支援者にとっても自己実現の場となることができました。 <p>ミシン指導の補助やプール監督補助等の授業支援、環境整備等を行いました。</p> <p>各校の特色として、酒々井小学校では昔遊び支援や総合学習授業補助（ホテルの里見学）、大室台小学校ではサツマイモ育成支援やビオトープ整備、酒々井中学校では学習支援があげられます。</p> <p>○土曜日の教育支援体制等構築事業（中央公民館と共同開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年生対象の「こども青樹堂」では、児童27名に、全16回の学習会を実施しました。 ・5・6年生対象の「土曜塾」では、児童29名に、全16回の学習会を実施しました。 ・児童からは、授業への理解が深まった・家庭での話題が広がった等の感想が上がり、学力向上を図ることができました。 <p>○地域未来塾の実施</p> <p>中学生の希望者を対象に元教員などの地域住民の協力を得て、学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に学習支援を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 日曜日の午後を中心に年間37回実施
---	--

<p>③青少年健全育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成会連絡協議会事業 球技大会、体験教室等 ・青少年相談員連絡協議会事業 つり大会、綱引き大会、星空の映写会等 ・陸別町児童交流事業 ・長野原町児童交流事業 	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込者数 1年：17人 2年：11人 3年：9人 <p>③青少年健全育成事業</p> <p>○子ども会育成会連絡協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技大会・・・6月24日、酒々井小学校においてドッジボールを行い、異なる学年や地域の児童たちの交流を図りました。（参加者5チーム61人） ・体験教室・・・12月1日、コミュニティプラザにおいて、防災体験やカウボーイパン作り体験を行い、楽しみながら体験学習を行いました。（参加者82人） <p>○青少年相談員連絡協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月21日に星空の映写会を行いました。 <p>紙芝居の会による紙芝居上映のあと、「S I N G / シング」の上映を行い、夜の戸外での映写会という体験を親子・友達同士で楽しむことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月7日に酒々井中学校において綱引き大会が行われ、23チーム194人の参加があり、チーム一丸となって協力しあう体験ができました。 <p>○陸別町児童交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月22日～24日に町内の小学6年生20名を対象に北海道陸別町における陸別町役場表敬訪問や陸別小学校の児童たちとの交流、自然体験等を実施しました。事前学習や訪問を通して一人ひとりが自覚と責任感をもって積極的に活動することができ、大きく成長することができました。 <p>○長野原町児童交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月24日～25日に町内の小学5年生43名を対象に、群馬県長野原町において、児童交流事業を行いました。
--	--

<p>・青少年おもてなしカレッジ事業</p> <p>④同和対策集会所事業</p> <p>・学力向上学級</p> <p>・生け花教室</p> <p>2 文化財班</p> <p>酒々井町の地域資源である歴史と文化を守り育て伝えるとともに観光・交流に資する事業を行います。</p> <p>史跡本佐倉城跡の保存整備と活用、旧酒々井宿周辺の保存・整備を図るまちの顔づ</p>	<p>長野原町児童と小浅間山を登山し、交流を図ることができました。また、自然体験や八ツ場ダム見学を行いました。事業を通して一人ひとりが自覚と責任感をもって積極的に活動することができ、大きく成長することができました。</p> <p>○青少年おもてなしカレッジ</p> <p>・町内小学4年生から中学1年生まで19名の参加者を対象に全11回の学習会を開催し、町内外の歴史・観光・文化や、福祉、茶道などの理解を深めることが出来ました。また、町行事でもある、まちづくりフォーラムへの参加も積極的に行うことにより、おもてなしの心や酒々井町の素晴らしさについて学ぶことができました。参加を予定していた千葉氏まつりは悪天候のため中止になりました。</p> <p>4 ④同和対策集会所事業</p> <p>○学力向上学級</p> <p>酒々井小児童2名、酒々井中生徒2名を対象に、同和対策集会所において毎月2回学習会を行い、学力向上を図ることができました。</p> <p>○生け花教室</p> <p>佐藤キヨ子先生による生け花教室を、地区の成人を対象に毎月2回行い、交流と心豊かな空間を提供することができました。</p> <p>酒々井町の歴史と文化を守り育て、観光・交流に資する事業を行うとともに、史跡本佐倉城跡保存整備事業、まちの顔づくり推進事業、墨古沢南I遺跡保存整備事業、埋蔵文</p>
--	---

<p>くり推進事業、墨古沢南Ⅰ遺跡の保存整備事業を継続して進めます。また酒々井ⅠCの開通、アウトレットの開業以降、開発事業が著しく増加しており、埋蔵文化財の保護事業を円滑に実施します。</p> <p>①文化財保護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査 開発にともなう試掘等の発掘調査を実施します。 ・町指定無形民俗文化財の上岩橋獅子舞獅子頭等修理を実施します。 <p>②まちの顔づくり推進事業</p> <p>江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を進めます。平成30年度は平成28・29前年度に作成した交流支援拠点整備マスタープランである「酒々井町歴史文化保存活用基本計画」に基づき、重点地区のモデル的整備として印旛沼眺望名勝地「下がり松」やまち登録有形文化財「筋吉五郎家」の修景整備・公開イベントを地方創生交付金を活用して実施します。</p> <p>③本佐倉城跡保存整備事業</p> <p>東山馬場の指定地外部分を入口広場（トイレ・管理詰所・倉庫・駐車場等）として整備を行うために進めている入口広場整備事業を継続して行います。平成30年度はトイレ・管理詰所等の建物工事に先立つ、上水道引込み工事や城跡内の危険木等の伐採を実施します。</p> <p>普及事業としては本佐倉城跡国史跡指定20周年記念事業として講演会等を開催します。またこれまでの調査の概要を公民館、本庁舎玄関で展示を行うほか、ボランティアガイドと協働して本佐倉城跡見学会を継続して行います。</p>	<p>化財の保護事業を円滑に実施しました。</p> <p>4 ①文化財保護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きアウトレット、酒々井ICの開業以降、開発事業に伴う試掘等の発掘調査が増加しており、平成30年度は22件の調査等を取扱いました。 ・町指定無形民俗文化財「上岩橋獅子舞」の獅子頭3頭の総修理を宝くじ助成金を活用して実施しました。 <p>4 ②まちの顔づくり推進事業</p> <p>旧酒々井宿について「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生交付金を活用して重点地区である印旛沼眺望名勝地「下がり松」と町登録建造物「筋吉五郎家」の修景整備・案内板設置等を行い、また3/16には本佐倉城跡20周年記念事業の見学会に合わせ「下がり松」の公開イベントを行いました。 <p>4 ③本佐倉城跡保存整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入口広場整備事業の一環として上水道の敷設工事を実施し、また城跡内の大佐倉地区側の民家に隣接する日照障害木の伐採を行いました。 ・普及事業 酒々井町と佐倉市の共催で、国史跡指定20周年記念事業として2/16にプレミアム酒々井で有識者6名による記念講演会を実施し、561名の一般参加者がありました。また3月16日に両ボランティアガイドの協力
---	--

<p>④墨古沢南 I 遺跡保存整備事業</p> <p>約 3 万年前の酒々井町最古の人類生活痕跡である墨古沢南 I 遺跡出土の「環状ブロック群」の残り東半分について発掘調査・報告書の作成を行い、その遺存状況や規模・内容を把握し、全国初かつ日本最大級の「環状ブロック群」としての国史跡指定を目指した保存整備事業を継続して進めていきます。</p> <p>平成 30 年度は、平成 27～29 年度に実施した調査・分析・研究成果をまとめ、国史跡指定に向けての根拠資料となる『総括報告書』を作成・刊行します。また引き続き有識者による調査指導委員会を開催し、調査・研究・総括報告書の作成を的確に進めます。</p> <p>周知・普及事業としては、墨古沢南 I 遺跡の常設展示を引き続きコミュニティプラザで実施します。</p> <p>3 スポーツ振興班</p> <p>町民のニーズにあったスポーツ・レクリエーションを展開するとともに、健康づくりや仲間づくりの場を提供し、健康増進・体力の維持向上を図ります。</p> <p>①生涯スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員事業 誰でも気軽に取り組める軽スポーツの普及を図ります。 ・ライトスポーツクラブ（毎週水曜日 19：00～酒々井中学校で開催予定） ・ウォークラリー大会（5 月 20 日開催予定） 	<p>により現地見学会を開催し、95 名の一般参加がありました。また中央公民館のロビー及び本庁舎玄関での展示を継続して行いました。</p> <p>4</p> <p>④墨古沢南 I 遺跡保存整備事業</p> <p>全国初・日本最大級の「環状ブロック群」の遺跡として国史跡指定を目指した保存整備事業を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの発掘調査・研究成果をまとめた総括報告書を 3/25 に刊行し、国史跡指定に向けた意見具申書へ成果根拠資料として添付し、提出しました。 ・調査、研究、総括報告書の内容検討等を行うため、有識者による調査指導委員会を継続して開催しました。 ・普及事業 墨古沢南 I 遺跡の常設展示をコミュニティプラザにて継続して行いました。 <p>スポーツ・レクリエーション事業を実施し、健康づくりや仲間づくりの場を提供し、健康増進・体力の維持向上を図りました。</p> <p>4</p> <p>① スポーツ推進委員・生涯スポーツの推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライトスポーツクラブは、毎週水曜日に軽スポーツを中心に事業を実施しました。 （50 回開催 参加者延べ 711 名（前年比 142 名減）） ・ウォークラリー大会は、5 月 20 日に開催しました。
--	---

<p>②連携・協働によるイベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーション祭（10月7・8日開催予定） 各種体育団体等が中心となり、実行委員会を組織し企画・運営を行います。 ディスクゴルフ、グラウンドゴルフ、ソフトバレー、バドボン、インディアカ、綱引き、健康づくりコーナー、昔の遊びコーナーなど ・町長杯パークゴルフ大会（11月17日開催予定） パークゴルフ団体の協力のもと実行委員会を組織し、大会を開催します。 ・順天堂大学連携事業生涯学習公開講座 親子スポーツ教室（全4回・11月開催予定） おとなも体力測定（11月開催予定） ノルディックウォーク教室（11・3月開催予定） ・「オリンピック・パラリンピックを体験しよう」 順天堂大学、各種体育団体等と連携し、トップアスリートを講師として招いて、オリンピック・パラリンピック競技種目のスポーツ教室を開催します。 ボッチャ体験教室（6月15日開催予定） バスケットボール教室（6月16日開催予定） バレーボール教室（6月17日開催予定） 陸上教室（開催日未定） 	<p>4</p>	<p>（参加者 39組 135名（前年比 15名増）</p> <p>② 連携・協働によるイベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーション祭 各種体育団体等が中心となり実行委員会を組織し、10月7、8日に開催しました。 ソフトバレー、バドボン、インディアカ、綱引き、健康づくりコーナー、昔の遊びコーナー、グラウンドゴルフ・ディスクゴルフを実施しました。（参加者延べ 450名（前年比 14名増） また健康づくりコーナーの中に、順天堂大学の協力により、ロコモ度チェックコーナーを実施しました。 ・町長杯パークゴルフ大会 町・パークゴルフ競技団体で実行委員会を組織し、11月17日に開催しました。 （参加者 184名 前年比 21名増） ・順天堂大学連携事業生涯学習公開講座 親子スポーツ教室を10月21日（サッカー）、28日（ブライインドサッカー）、11月11日（体操競技）、18日（バスケットボール）の全4回実施しました。（参加者9組22名 前年比15名減） おとなもスポーツテストを11月4日酒々井中学校体育館（参加者25名）で、また、ノルディックウォーキング教室を11月18日と12月23日の2回開催しました。（参加者23名） ・「オリンピック・パラリンピックを体験しよう」 ボッチャ体験教室を6月15日（参加者112名）、バスケットボール教室を6月16日（参加者90名）、バレーボール教室を6月17日（参加者100名）、陸上教室を3月16日（参加者62名）に開催しました。
---	----------	--

<p>③競技スポーツの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会が中心となり、各種スポーツ大会を開催し競技力の向上を図ります。 卓球・バレーボール・バドミントン・野球・少年野球・ソフトボール・ソフトテニス・テニス・ ゴルフ・空手・剣道・少年サッカー ・ 印旛郡市民体育大会への参加及び選手派遣を行います。全 17 競技 25 種目 <p>④ 体育施設の有効活用と学校開放</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存体育施設・学校開放施設を効率的かつ有効に活用しながら、スポーツ・レクリエーションに親しむ場の提供を行います。 	<p>4</p> <p>4</p>	<p>③ 競技スポーツの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会が中心となり、各種スポーツ大会・教室を開催し、競技力の向上を図りました。(卓球・バレーボール・バドミントン・野球・少年野球・ソフトテニス・テニス・ゴルフ・空手・剣道・少年サッカー 参加者 2,287 名(前年比 323 名減) ・ 印旛郡市民体育大会への参加及び選手の派遣を行いました。(7月7日～8月25日開催 全17競技25種目中24競技に231名を派遣。) <p>④体育施設と学校開放施設の貸し出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 墨スポーツ広場・中央台公共用地・学校開放施設を効率的かつ有効に活用し、スポーツ・レクリエーションに親しむ場を提供した。(利用登録団体：54 団体 1,385 名)
---	-------------------	--